

ASA FOOTBALL REPORT

クラブ紹介

【綾瀬市】落合サッカークラブ
ひとりひとりが活躍できる

創立1990年の落合サッカークラブ（略称：落合SC）は、綾瀬市の落合、土棚、綾南小学校を中心とした活動しているクラブチームです。火・木・土曜日に落合小学校グラウンドで練習があり、とくに土・日曜日は近隣の大会や練習試合にも出ています。現在は、18人の子どもたちが所属しています。

落合SCでは、試合に勝つことだけにこだわらず、サッカーの楽しさや子どもたちが互いに助け合い、仲間意識を持つようにすることを基本理念としています。練習では、JFA公認のスタッフもいるなか、基礎的なメニューを中心に行っていますが、特に仲間を信じてプレーするパワーアップを心がけています。また、指導する上での子どもたち一人ひとりが持つ個性を生かし、チャレンジしていく精神を大事にしています。チームは、少女サッカーも力を入れており、毎年ガールズ大会を開催している他、夏には落合SC主催の招待杯を実施しており、他のチームとの交流を積極的に図っています。

サッカーだけでなく地域交流も大切にしており、地元の「落合つ子ふるさと祭



りへの出展やお楽しみ会、夏合宿などの年間を通して多くの行事があります。特に、ふるさと祭りの本格ターゲットは人気スポットで地元の人から愛されています。チームのアピールポイントは、「子どもたちと保護者が一体になって楽しめる地域チーム」で、全体の仲がとても良いことも特徴の一つです。

落合SCの目標は子どもたちにサッカーを生涯スポーツとして続けることです。石神監督は落合SCについて「子どもたちへ応援と子どもたちがくれる感動が共有できるチーム」と話してくれました。また、入団したい子に向けては「近隣に強豪チームは多数あるが、たくさんの試合に出場できて一人ひとりが活躍できるのは落合SCです。」と自信をもって語ってくれました。



ライタープロフィール　臼井塁（うすい・るい）

2001年生まれ。東京都小平市出身。帝京スポーツ新聞部でラグビー、柔道、駅伝などを担当している。

あなたの保険のホームドクター
保険クリニック ラ・フロール橋本店
SPORTS CLUB ★★★★★
S.C.SAGAMIHARA

頑張れ! SC相模原キャンペーン

本SC相模原PRESSを見て保険クリニック ラ・フロール橋本店での
来店保険無料相談（相談だけでもOK!）のご予約をしてくださったお客様限定で
SC相模原オフィシャルグッズ①②③からもれなくお好きなものを1つプレゼント!!

1 SC相模原
洗えるマスク（グリーン）
Sサイズ 2枚セット

2 SC相模原
文房具3点セット
(色鉛筆12本セット・下敷き・シールバラエティ)

3 SC相模原
オリジナルボール
(4号球×1・非売品)



あなたの保険のホームドクター
保険クリニック
ラ・フロール橋本店

free 0120-277-689 または
HPより→

JR横浜線「橋本」駅より徒歩10分 相模原市緑区西橋本5-1-1 営業時間／10:00~19:00(木曜定休、祝日除く)

※商品は予告なく変更になる場合がございます。
予めご了承ください。

9/19 レノファ山口FCマッチレビュー

澤上か、平松か、ユーリカ 待たれるストライカーの覚醒
文=北健一郎 サッカー、フットサルを中心活動するスポーツライター。テレビ・ラジオでの解説も行う。

8月9日のリーグ再開後、SC相模原は4試合で1勝2分1敗。多くの新戦力が加わったチームが確実に力をついているのは明らかだ。ヴァンフォーレ甲府、アルビレックス新潟、ジュビロ磐田という上位陣を相手にも自分たちの時間を作り、何度もゴールを奪かした。

とはいっても、勝ち切れたのが1試合だけだったのも事実だ。J2降格圏から脱出したSC相模原にとって何よりも必要なのは勝ち点3。相手よりもゴール数で上回らなければ、J2残留のライバルを追い越すことはできない。

勝ち点1を勝ち点3にするために、何よりも必要なのはゴールだろう。37歳のファンタジスタ・藤本淳吾が3試合連続ゴールと素晴らしい輝きを放っているが、今後はマークもより一層厳しくなるはず。得点源となる選手の出現が待たれる。

とりわけ期待したいのが最もゴールに近い位置でプレーするFW、いわゆる“1トップ”の選手だ。このポジションは澤上竜二、平松宗、ユーリの3人が務めているが4試合でまだ1回もゴールネットを揺らせていない。

磐田戦でスタメンになったのは平松だった。高木琢也監督は平松に「攻撃の起点

になつてほしかった」と語っている。DFラインの背後の動き出しや、ボールをキープして味方が攻め上がる時間をつくる。守備に回れば、ファーストDFとして後方の味方のために相手のプレーを限定する。どれもが1トップの重要な役割であることは間違いない。

ただし、ストライカーにとって最大の仕事は言うまでもなくゴールを決めるごと。澤上であれば左足のシュート、平松は高さを生かしたプレー、ユーリは超人的なフィジカルとそれぞれ強力な武器を持っている。

レノファ山口戦は順位が近い相手との試合、いわゆる“6ポイントマッチ”となる。勝ち点1を積み上げたことで満足すべき相手ではない。26試合で16ゴールの相模原と、20ゴールの山口。得点力でボトム1、2のチーム同士の試合では1点の重みは必然的に高くなる。

澤上か、平松か、ユーリか。相模原に歓喜をもたらすストライカーは現れるのか。



★SC相模原のホームタウンとして新たに海老名市を追加★

株式会社スポーツクラブ相模原が運営するJ2リーグクラブ「SC相模原」は、2021年8月26日（木）に開催された公益社団法人日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）の理事会での承認を受け、ホームタウンとして新たに海老名市に追加が決定しました。

これを受けて、SC相模原のホームタウンは相模原市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町となります。

【海老名市】内野 優市長のコメント



このたび、SC相模原のホームタウンに加わることができ、大変嬉しく思っています。クラブにおける「夢を持った挑戦、常に留まることなく成長する」という信念は、当市や私の想いに通ずるものがあり、SC相模原の活動が市民や次代を担う子どもたちに夢を与えるとともに、チームとの交流がスポーツや健康づくりなどを中心に様々な場面で、当市に良い影響をもたらしてくれることを期待しています。

また、当市は今年11月に市制施行50周年を迎え、今後の50年を見据える機会でもあります。その中で、SC相模原や当市の継続的な発展に繋がる取り組みを共にスタートできることも、50周年という節目の年にふさわしいものと考えています。

私たち海老名市は、SC相模原を応援します。

【株式会社スポーツクラブ相模原】
代表取締役会長 望月 重良のコメント

このたび、新たに海老名市からホームタウンとしてご支援をいただけることとなりました。ご尽力賜りました関係者の皆さまに深く御礼申し上げます。

今後は5自治体をホームタウンとして、各市町の皆さまとともに成長を重ねながら、スポーツを通じた地域活性化や青少年育成への貢献に向けて取り組んでまいります。

★全57クラブ横断『Jリーグ防災グッズ特集』販売開始!★



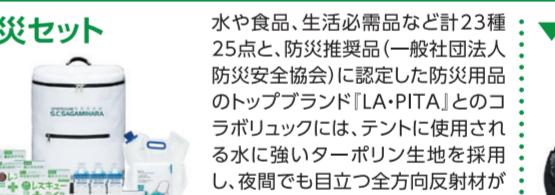
9月1日の防災の日に合わせ、Jリーグ全57クラブロゴデザインの「防災セット」と「寝袋」を9月1日（水）よりJリーグオンラインストアにて受注販売を開始いたします!

防災のプロが選んだ必需品を詰め込んだ防災セット、車中泊や登山などのアウトドアにもご活用いただける寝袋で安心を備えましょう!



▼防災セット
9月1日の防災の日に合わせ、Jリーグ全57クラブロゴデザインの「防災セット」と「寝袋」を9月1日（水）よりJリーグオンラインストアにて受注販売を開始いたします!

防災のプロが選んだ必需品を詰め込んだ防災セット、車中泊や登山などのアウトドアにもご活用いただける寝袋で安心を備えましょう!



▼寝袋
水や食品、生活必需品など計23種類25点と、防災推奨品（一般社団法人防災安全協会）に認定された防災用品のトップブランド「LA-PITA」とのコラボリックには、テントに使用される水に強いターポリン生地を採用し、夜間でも目立つ全方向反射材が付いており、前面にはクラブロゴがプリントされています。

水や食品、生活必需品など計23種類25点と、防災推奨品（一般社団法人防災安全協会）に認定された防災用品のトップブランド「LA-PITA」とのコラボリックには、テントに使用される水に強いターポリン生地を採用し、夜間でも目立つ全方向反射材が付いており、前面にはクラブロゴがプリントされています。



冬の登山でも使える保温性や便利な機能も付いた寝袋で、災害時のみならず、アウトドア、車中泊等日常の様々なシーンで活用いただけます。本体と収納袋にクラブロゴデザインのワッペンが付いています。

水や食品、生活必需品など計23種類25点と、防災推奨品（一般社団法人防災安全協会）に認定された防災用品のトップブランド「LA-PITA」とのコラボリックには、テントに使用される水に強いターポリン生地を採用し、夜間でも目立つ全方向反射材が付いており、前面にはクラブロゴがプリントされています。

コラム SC相模原を美味しく食べてみて!

頑張れ! 20歳以下の5人の選手と37歳のおじさん
文=丹羽勝彦 SC相模原設立当初よりチームの成長を温かく見守ってくれているサポーター

2021年も9月になりました。早いですね。全42節で構成されているJ2リーグも、あと残り13試合。SC相模原は、現在最下位ですがJ2残留の18位との勝ち点差は4。J2残留実現は、これからが正念場となります。

8月は磐田・新潟・甲府とJ2上位を行くチームとの試合が続きましたが、SC相模原はここを1勝1敗1分けとイーブンで乗り切りました。3チームともフィジカルに優れた外国人FWの決定力が強力なチーム。この相手FWの攻撃を白井・木村・藤原・川崎を中心とするDF陣が粘り強く封じました。特に磐田戦では、ルキアンとゴンザレスの2人に前を向かせない、シュートを打つ余裕を与えない、という強い相模原守備陣の意識がビンビン伝わってきました。本当に良かったですね。

特に9月4日（土）の千葉戦と9月19日（日）の山口戦はホームゲーム。J2の中位以下のチームの戦力はほぼ拮抗しており、毎試合1点を争うギリギリの戦いが続く中で、「ホームの後押し」は大きくプラスに働きます。緊急事態宣言が出ている中ですので、あまり強く推せないのが残念ですが、万全のコロナ対策を施してスタジアムへも応援にご来場ください。また、DAZNの中継を通じでいつもギオンズにエールを送っている皆様は、更なるSC相模原への背中を押す「圧」を、ネットを通じてお送りください。私たちの“後押し”でSC相模原をJ2残留に導きましょう!

さあ、勝負の9月の対戦は千葉・長崎・山口・大宮との4試合です。言うまでもなく